がある。

このかわら版は、雄武町における水産業を核としたまちづくり(地域マリンビジョン(以下 MV)) について、検討内容・検討経過を皆様にお知らせするため発行しております。

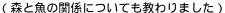
秋季めだか塾をはじめとする体験学習が実施されました!!

秋季めだか塾の開催

平成19年10月14日(日)に雄武町子ども会育成連絡協議会主催による「秋季めだか塾」が開催され、町内の子どもたち22名が参加しました。今回のめだか塾と一緒に「げんきの森」事業も併せて実施!「げんきの森」事業とは、森を育て・森から学ぶなど、森の中での実体験を通じて、子どもたちの「生きる力」を育てるという主旨があります。北海道保健福祉部・環境生活部・教育庁・水産林務部が連携し、推進している事業です。

赤えぞ松、とど松、みずならなど、全部で55本の植樹を行い、森づくりセンターの職員から森林の大切さについても教えていただきました。











植樹のあとは、お昼ご飯!雄武の秋と言えば「サケ」!そこで、子どもたちが実際にサケを捌いて「石狩鍋」と「サケおにぎり」を作りました。

実際にサケを捌くことのない子どもたちは、生のサケに大興 奮!キャーキャーと言いながらも見事に捌くことが出来ました。

今回も実際に「雄武の宝」に触れた子どもたち。またひとつ雄 武の良さを実感したことでしょう。

地域マリンビジョンとは?

北海道開発局においては、明日の活力ある北海道水産業の将来像を「北海道マリンビジョン21」として示しています。雄武町では、「北海道マリンビジョン21」に示された主旨に賛同し、H17年度より「雄武地域」の特徴を最大限生かした「雄武地域マリンビジョン」の検討を進めております。

豊丘小学校で漁業体験学習を実施

平成19年10月30日(火)元稲府漁港の背後地区にある豊丘小学校において、漁業体験学習が実施されました。

網走地区水産技術普及指導所の職員による「おさかなクイズ」では、 地元雄武町で漁獲されている水産物や栽培漁業に関する取り組みをクイ ズ形式で楽しく、わかりやすく教えてくれました!





雄武漁協青年部の花松部長をはじめとする青年部員たちは、「漁師さんの仕事」として実際の漁具を使った漁の方法や漁具(網)の修理の仕方まで実演してくれました。

その後の質問コーナーでは「今までで漁獲した鮭で一番大きかった 鮭はどのくらい?」という質問に、実際漁獲した大きい鮭を見せてく れて子どもたちも大喜び!浜の仕事もより一層身近に感じてくれるこ とでしょう!

翌日31日(水)は青年部が刺網で漁獲した魚を網からはずす漁業体験を行いました。刺網には鮭、ニシン、ハタハタなどがかかっており、子どもたちは網に絡まった魚を真剣な表情で黙々とはずしておりました。この中には将来、漁師さんになる子どもたちもきっといるはずです!子どもたちには将来に生かせるいい体験になったことでしょう!



食育の推進を目的とし、お昼は刺網で漁獲した鮭を使った給食づくりを行いました。ちゃんちゃん焼、あら汁、ムニエルと鮭を使ったフルコースです!おいしい鮭のフルコースに子どもたちも満面の笑みを浮かべていました。今回の体験学習を通じ、雄武の漁業、漁師さんの仕事、雄武の水産物のおいしさと様々なことを学ぶことができました!







意見・感想など、ご遠慮なく下記へお寄せ下さい。



雄武地域マリンビジョン事務局

【お問い合わせ先】

雄武町役場 産業振興課 水産係 Tel 0158-84-2121 Fax 0158-84-2844

mail sangyo@town.oumu.hokkaido.jp



雄武の子どもたちは自然 とともに、学び、成長し ているのですね!